**論文タイトル（和文または英文,明朝,Times,ボールド,14ポイント,中央寄せ）**

（一行あける）

著者 氏名1, 都築 和代2（和文または英文, 明朝, Times, 11ポイント, 中央寄せ）

1著者所属, 2豊橋科学技術大学（和文または英文, 明朝, Times, 10ポイント, 中央寄せ）

（一行あける）

要旨 : 抄録（和文400字（英文の場合200字）以内）（明朝(全角文字), Times(半角文字), 9ポイント, 両端揃え）

**キーワード**：キーワード（和文または英文, 5単語以内）（明朝(全角文字), Times(半角文字), 9ポイント, 左寄せ）

（2行あける）

１.はじめに（ゴシック, 10ポイント, 中央揃え）

　原稿はA4判、2または4ページとする。

　用紙の上下左右に25 mmの余白を設けること。

　論文タイトル、著者名、著者所属、キーワード、本文は日本語または英語で統一すること。

本文の構成は、1.はじめに（緒論など）、2.方法、3.結果、4.考察、5.まとめ、（謝辞）、6.文献の順とする。ただし、論文によっては他の章立ても可とする。

文体は口語体（である調）とし、原則として常用漢字・新仮名づかいを用いる。

（章と章の間は1行あける）

２.字体と改行

章タイトルは中央揃えで、ゴシック、10ポイントで記入する。本文は両端揃えで、全角文字は明朝、9ポイントとする。英数字はTimesの半角文字に統一する。

章と章との間は、1行空白行をとる。ただし、章タイトルが頁や段組みの先頭にくる場合はこの限りでない。

各段落の最初は、1文字分の空白をとる。

図、表、写真と本文の間には1行以上の空白行を、数式と本文の間には1行の空白行をとる。

（章と章の間は1行あける）

３.図表と写真

本文を日本語で記述する場合、図表の表現は、日本語または英語を使用する。ただし、論文全体を通してどちらかに統一すること。本文を英語で記述する場合、図表の表現は英語で統一すること。図表中の文字は適切な大きさで記すこと。なお、原稿はカラーでも受け付けるが、白黒での印刷になる。

図、表、写真には、内容を明確に表わす表題を付けること。表題の文字は9ポイントとし、和文の場合は明朝体とし、英文の場合はTimesとする。また、図・表・写真ごとに太字の通し番号を付ける。この時、章ごとに分けずに、図1、図2、表1、表2、写真1、写真2などと記入する。表題記入位置は、図・写真の場合はその真下、表の場合はその真上とする。図、表、写真の横には、原則として本文は組み込まない。

図表の記載は以下の例を参照のこと。

（表と本文の間は1行以上あける）

**表1**　円筒外の流れを対象とする式の定数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *Re*の範囲 | 定数　*C*　[N.D.] | 乗数　*m*[N.D.] |
| 0.4–4  4–40  40–4,000  4,000–40,000 | 0.989  0.911  0.683  0.193 | 0.330  0.385  0.466  0.618 |

（図と本文の間は1行以上あける）



**図1**　PMVとPPDの対応

（章と章の間は1行あける）

４.数式

数式には、(1)、(2)、(3)のように通し番号を付ける。式番号は右寄せで記す。数式中の変数はイタリックで記述する。

（数式と本文の間は1行あける）

 (1)

（数式と本文の間は1行あける）

ここに、*f*(*x*): *x*が正規分布の場合の確率密度関数 [N.D.]、*x*: 原点からの距離 [m]、*σ*: *x*の標準偏差 [m]、μ: *x*の平均値 [m]。

（章と章の間は1行あける）

５.本文中の文献の記述

　本文中の文献の引用は、著者名と西暦発行年とすること。例：　Fanger（1970）によれば、・・・である。・・・と報告されている（Mochida et al., 1997; 都築ら, 2009）。

（章と章の間は1行あける）

**謝辞**　研究を実施する上で協力を得た人（団体）に謝意を表明する。特に、科研費、企業団体からの研究費によって研究が行われた場合には明記すること。

（章と章の間は1行あける）

６.文献

文献は、著者姓のアルファベット順に次の書式で記載する。

（雑誌の場合）

著者姓名（英文の場合は、「姓, 名前の頭文字」の順）発行年（西暦）. 表題, 雑誌名, 巻（号）, 初頁／終頁.

（雑誌の例）

Mochida T., Nagano K., Migita T. 1997. Mean radiation temperature weighted by absorption factor and its characteristics, J. Human-Environment System, 1(1), 57/63.

都築和代, 磯田憲生 2009. 夏期における日射のある屋外温熱環境が運動時の人体に及ぼす影響, 人間と生活環境, 16(1), 1/9.

（本の場合）

著者姓名 発行年（西暦）. 表題, 書名, 編者名, 発行所, 初頁／終頁.

（本の例）

Fanger P.O. 1970. Thermal comfort, Danish Technical Press.

（本中の章の例）

Benzinger T.H. 1983. Mechanisms of human thermo-regulation, Heatstroke and temperature regulation, Khogali M. and Hales J.R.S. (eds), Academic Press, New York, 53/64.

**＜連絡先＞**

山岸 明浩

〒380-8544　長野県長野市西長野6のロ

信州大学　教育学部　学校教育教員養成課程

yamaaki＠shinshu-u.ac.jp